

## 着任挨拶

名古屋大学大学院工学研究科  
機械システム工学専攻  
機械理工学講座  
固体力学研究グループ

**奥村 大 准教授**

平成 10 年卒業(第 57 回)



2018年4月1日付で機械システム工学専攻の固体力学研究グループに准教授として着任しました。とは申しましても、2016年3月まで名古屋大学の計算理工学専攻に在籍しており、計算固体力学グループ 大野信忠教授のご退職を受け、2016年度から2年間、大阪大学大学院工学研究科に転出していました。四大学工学系人材交流プログラム（現在は六大学）という制度の下での転出で、形式上は名大を退職し、阪大での任期付きの採用、2年後に阪大を退職し、再び名大での新規採用となります。

当時、妻は名古屋で育休中、復職に向けて息子は保育園に入園することが決まっておりましたので、大阪大学吹田キャンパスの近くにアパートを借り、単身赴任しました。この2年間は、名古屋大学の研究室にも院生がおりましたので、主に週中を阪大で過ごし、研究教育活動を行い、週末をはさんで名古屋に戻り、名大の院生の研究指導を行いました。移動に便利な場所ということで、偶然、茨木春日丘教会（建築家 安藤忠雄氏が設計した「光の教会」として有名）が見えるところに住むことになりました。このエリアは松沢池と呼ばれる江戸時代に造られた人工池とそれに付随する春日丘公園を中心にして、起伏のある土地柄ながらも閑静な住宅街を形成しており、徒歩数分で茨木カンツリー倶楽部という大阪府最古のゴルフ場に行くこともできます。吹田キャンパスには徒歩15分、近くのバス停から茨木駅にも15分程度で行くことができ、茨木駅からは新大阪や京都にも出ることができるなかなか便利な場所でした。私はゴルフをしません、読書をするので、すこし足を延ばして司馬遼太郎記念館に行きました。途中には焼肉で有名な鶴橋というディープなエリアがあります。さらに足を延ばして高野山にも行って見たかったのですが、これは次の機会に達成したいと思います。

大阪大学では、澁谷陽二先生の研究室でお世話になりました。大阪大学は「地域に生き世界に伸びる」をモットーとしています。「自由闊達」という言葉は名古屋大学を説明するために使われますが、澁谷研究室では、固体力学研究の進むべき方向について、まさに自由闊達な議論が行われており、この2年間は、私自身、

今後の研究教育活動に思いを巡らせるまたとない期間となりました。私の将来のかけがえのない財産になるのだと感じています。このような貴重な機会を頂きまして、機械・航空宇宙工学科の先生方には大変感謝しております。

東山会では平成16～19年度, 22～25年度に会計理事を担当させて頂きました。東山改革のときには、庶務理事の社本英二先生とエクセルシートに数字を打ち込み、財政改革について検討したことが懐かしく思い出されます。再び東山会で皆様とお会いできることを楽しみにしております。今後ともご指導ご鞭撻のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。